

# WUBの3氏に聞く

日宣保晴「ブラジルの全  
体会議、アルゼンチンの

会議と南米での日程を終えたWUBのロバート・仲宗根会長と、  
沖縄支部の呉屋守将会長に話を聞いた。

ロバート・仲宗根  
WUB 会長

は。会議を終えての感想



「開催して本当によかった。言葉は通じなくてもウ  
た。ハワイと南米は同じ移 ちナンチュの心がある。

## ネットワークの成功を確信

民の子弟であることや二 ビジネスの世界的なネット たい。この会議は結成して  
世、三世が同じように各分 ワークは成功すると確信し まで一年しかならない。し  
野で活躍している点など歴 た。今はインターネットや かし、今度の会議でハワ  
史的にも現在も似ていると ファクスでも連絡し イ、沖縄に続き、ブラジ  
感じ、親密感が持てた。特 やすくなっている。しかし、 ル、北アメリカ、ポリビ  
に感心したのは沖縄の伝統 お互いが顔を合わせるこ の支部が正式に発足、ペ  
を守り継承していること は大事。毎年WUB会議を ーも間もなく発足する。そ  
る。文化の継承には金が

一成果は。  
「九十周年式典にこれほ  
ど多くの関係人が集まるの  
は他真にはない。沖縄は家  
族的つながりが強く、文化  
も継承している。私たちが  
華僑をもじって琉僑と呼び  
の会員がいたら、ブラジルの  
の会員のウチナンチュの  
不動産経営者を紹介するな  
ど、それぞれが独自のビジ  
ネスを展開していくと思  
う。ルートができれば交流  
は深まる。沖縄は小さい  
が、世界には多くの沖縄社  
会があり、各国で二世や三  
世に沖縄文化は継承されて  
いる。文化の継承には金が

## 沖縄らしき世界に通用



もさらに高まる。ニューヨ  
ークやアトランタも見てき  
たが、沖縄県人が世界で受  
け入れられていることは証  
明されている。

## これまでの夢が現実

WUBブラジル支部の与  
那嶺貞次会長の話 若いこ  
ろからこのネットワーク作  
りに期待していた。九十年  
前の移民が二十一世紀を迎  
え、世界的につながる。そ  
の時、移民したことの価値

WUB沖縄支部の呉屋守  
将会長の話 会議ができて  
間もないのに、支部が次々  
に結成されていることは驚  
きだ。ウチナンチュのネ  
ットワークを通じた世界的

ブラジルでは県系人の政  
治家が多い。それはそのよ  
うな真実性が受け入れられ  
ているからだ。沖縄はだん  
だん日本化していると聞く  
が、沖縄らしきは失わない  
でほしい。それが世界に通  
用するのだから。



る、など具体的イメージが  
描ける。国際的ビジネスは

信頼が大事。県系人は勤勉  
で約束を守ると各地で高い  
評価がされている。オーブ  
ンな真実性とあわせてこの  
評価はビジネスをする上で  
も必要なことで心強い。